

市民ヒアリングについて

◆ヒアリング調査の目的

総合振興計画策定に向けて、市民の現状認識、市への思いや将来への希望などを把握するために、市民ヒアリングを行った。商業者、NPO 法人、社会福祉協議会、まちづくり協議会などの各種団体や個人へのヒアリングを実施し、各主体の思いやニーズの把握を目的とした。同時に直接的対話による団体との信頼関係の構築に努めた。

ヒアリングにあたっては、今後のワークショップへの参加、計画策定後の新しい取り組みに関わる主体として期待される団体・個人との関係構築も視野に入れて対象設定を行った。

◆ヒアリング調査内容

1. 団体のプロフィール（設立年月日、会員数、活動内容、その他）
2. 団体の活動について（現状や課題、今後の方向性、行政からの支援など）
3. 南丹市のまちづくりについて（本市の現状や課題、取り組むべき内容など）
4. 南丹市のおすすめや自慢できるものについて
5. その他、ご提言などについて

◆ヒアリング対象者およびヒアリング実施日程

日程	対象団体・対象者	備考
2月9日	南丹市体育協会	審議会委員
	南丹市商工会	審議会委員
	南丹市福祉シルバー人材センター	審議会委員
	南丹市建設業協会	審議会委員
2月10日	世木地域振興会	
	京都ファーム日吉	
	南丹市老人クラブ連合会	審議会委員
2月13日	南丹市女性会	審議会委員
	京都匠塾	
	みのりネットワークス（わっかつか！）	
	グローアップ	
2月14日	南丹市社会福祉協議会	審議会委員
	南丹市の森林を考える会	審議会委員
	南丹市観光まちづくり実行委員会	審議会委員
	芦生自然学校	
3月6日	さまさま市実行委員会	
	船井青年会議所	審議会委員
3月8日	NPO 法人発達障害を考える会 ぶどうの木	
	CocoCan	
	チームおば給	
	鶴ヶ岡振興会	
3月9日	ウィーラースクールジャパン	
	NPO 法人 にぎわいコンソーシアム園部	
	元八木町本町商店会会長	
	京都銀行園部支店	
	南丹市消防団	審議会委員
3月16日	南丹市民生児童委員協議会	審議会委員

◆ヒアリングシート提出

対象団体	備考
誘致企業代表（京都新光悦村の会）	審議会委員
明治国際医療大学	審議会委員
二本松学院	審議会委員
南丹市工芸家協会	

市民ヒアリングのまとめ

○市民活動団体、地域を単位とする団体など活発に活動しているが、団体間の連携が難しい。

南丹市では、市民活動団体や地域を単位とする団体など、数多くの団体が活動しているが、それぞれ課題を抱えている。

市民活動団体は、地域性を反映して美山・日吉地域には自然環境などの資源を積極的に活用しているという団体が多く、園部・八木地区では子育てや福祉・健康などをテーマとする団体が多い。団体間の連携・協力へのニーズは高いが、現状では複数団体のネットワークなどはできていない。また市民活動団体と地域社会とのつながりづくりに苦勞されているところもあり、こうしたつながりづくりをサポートしてくれる主体へのニーズも高い。

また南丹市全域を範囲として、各地域を構成単位とする団体は、市域の広域化に伴う移動の負担や構成員の高齢化と減少などの課題を抱えているところが多い。

○行政とのつながりを持つ団体は多いが、活動の活性化、効果的な施策の展開に向けて、お互いのニーズをくみ取った関係づくりが求められている。

活動支援や業務委託、補助金や助成金などを通じて行政と一定の関係を持っている団体は多い。一方で、南丹市としての方向性を明確にしてほしい、テーマごとの活動を予算措置とともに市民活動団体に任せてほしい、施策のアイデアが団体にはある、などの意見もみられた。これからの行政と市民・地域との協働に向けて、行政と市民活動団体、地域を単位とする団体とのかかわり方、役割分担やニーズに合った支援手法などの検討も必要である。また行政として南丹市の今後に向けた展望、取組の方向性の明確化が求められている。

○地域の個性を生かしつつ、南丹市としてのまとまりをもたせるまちづくり

市民ヒアリングを通じて、良好な生活環境や地域資源の豊かさなど、南丹市のもつポテンシャルへの評価は高い。一方で旧4町の環境や条件の違いなどを指摘する意見も多かった。今後の南丹市の街づくりに向けて、旧町単位の個性を生かしていくことが重要であると思われる。また小規模多機能型の自治に言及される場面もいくつかあり、少子高齢化が進む地域の運営についても、地域の独自性を生かし、地域が主体性を持って取組を進めていけるようになることが重要と思われる。